

応募について

【一般社会人のためのスポーツ実技講座】『バドミントン 初・中級編』

受講希望者は、申し込みが必要です。全7回の講座ですので、途中参加はできません。

- ☐対象 初心者と上級者を除き、基礎打ちができる初級および中級者
☐定員 先着順／40名(定員になり次第、締め切ります)
☐受講料 7回一括／4,000円(シャトル代・保険料等含む)
☐講座時間 9:30～12:00(休憩あり)

▼申し込み方法(4月5日より受付開始)

※講座日程については、今後、変更する可能性があります。

■以下の①～⑦を記入の上、FAXにてお申し込みください。(FAXがない場合は、電話での受付もいたします)

①氏名 ②生年月日 ③住所 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥緊急の連絡先(本人以外の電話番号)をお知らせください。⑦メールアドレス
 申込先：FAX=0743-62-7029 TEL=0743-63-9006 天理大学広報・社会連携課

※受講料(4,000円)は第1回目の受付で徴収いたします。
 ※一旦納入いただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。
 ※受講許可者には、後日郵送にて連絡します。講座当日は直接会場(天理大学体育学部キャンパス)へお越しください。

『人文学へのいざない』

各回ごとの事前申し込みが必要です(全6回)。

□講座時間 受付：13:00／講演：13:30～15:30

▼申し込み方法 阿倍野市民学習センター 往復ハガキ、インターネット、来館にて受付
 申込先：住所=〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

☐定員 50名(多数抽選)
 詳細は、☎06-6634-7951
 阿倍野市民学習センターに
 お問い合わせください。

『「大和学」への招待 —郡山の歴史と文化2—』

事前申し込み不要です。当日、直接会場へお越しください。

□問合せ 天理大学広報・社会連携課 ☎0743-63-9006

□講座時間 受付：13:00／講演：13:30～15:00 □定員 先着順75名
 定員を超える来場者があった場合、入場を制限することがありますので、ご承知おください。

『「大和学」への招待 —宇陀歴史再発見—』

事前申し込み不要です。当日、直接会場へお越しください。

□問合せ 天理大学広報・社会連携課 ☎0743-63-9006

□講座時間 受付：13:00／講演：13:30～15:00 □定員 先着順70名
 定員を超える来場者があった場合、入場を制限することがありますので、ご承知おください。

『外国語への招待』

事前申し込みが必要です。

□問合せ 奈良新聞社 企画部事業課 ☎0742-32-2115

□講座時間 受付：13:00／講演：13:30～15:00 □定員 先着順30名

▼申し込み方法 ハガキ・FAXで受け付け①氏名②生年月日③住所④電話番号⑤FAX番号⑥参加講座名を記入してください。
 申込先：住所=〒630-8686奈良市法華寺町2-4 奈良新聞社企画部事業課係 FAX=0742-32-2774

『ウェルネスライフのすすめ』

事前申し込み不要です。当日、直接会場へお越しください。

□問合せ 天理大学広報・社会連携課 ☎0743-63-9006

□講座時間 受付：13:00／講演：13:30～15:15 □定員 先着順40名
 定員を超える来場者があった場合、入場を制限することがありますので、ご承知おください。

会場について



『バドミントン 初・中級編』

●会場:天理大学
体育学部キャンパス
総合体育館内
(サブアリーナ)

天理市田井庄町80
(近鉄・JR[天理]駅より徒歩約10分)



『人文学へのいざない』

●会場:あべのベルタ3階

大阪市阿倍野区阿倍野筋
3-10-1-300
(近鉄「大阪阿部野橋」駅より阿倍野筋を南へ約300メートル・Osaka Metro谷町線「阿倍野」駅7番出口直結)



『「大和学」への招待 —郡山の歴史と文化2—』

●会場:三の丸会館
(大和郡山市中央公民館
3F小ホール)

大和郡山市南郡山町529-1
(近鉄「郡山」駅より徒歩約5分)
(JR「郡山」駅より徒歩約15分)



『「大和学」への招待 —宇陀歴史再発見—』

●会場:宇陀市文化会館
(研修室)

宇陀市大字陀拾生871
(「大宇陀」バス停より徒歩2分)



『外国語への招待』

●会場:奈良新聞社
(3F セミナールーム)

奈良市法華寺町2-4
(近鉄「新大宮」駅より徒歩約10分)



『ウェルネスライフの すすめ』

●会場:橿原市役所
分庁舎(ミグランス)
(4F コンベンションルーム)

橿原市内膳町1-1-60
(近鉄「大和八木」駅より徒歩約3分)

※申込時にご記入いただきました個人情報につきましては、厳重に管理するとともに、当該講座の連絡およびスポーツ実技講座における保険加入手続きの目的のみに使用いたします。

天理大学・奈良新聞社 共催 【一般社会人のためのスポーツ実技講座】

『バドミントン 初・中級編』

天理大学・阿倍野市民学習センター 共催 / 奈良新聞社 後援

人文学へのいざない

『大和学』への招待

天理大学・大和郡山市・柳沢文庫 共催 / 奈良新聞社 後援

—郡山の歴史と文化2—

天理大学・宇陀市 共催 / 奈良新聞社 後援

—宇陀歴史再発見—

天理大学・奈良新聞社 共催

外国語への招待

天理大学・橿原市 共催 / 奈良新聞社 後援

ウェルネスライフのすすめ



2023 OPEN LECTURE

【一般社会人のためのスポーツ実技講座】
「バドミントン 初・中級編」
[9:30～12:00]

開催日は変更する可能性があります。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止もありますのでご了承ください。

対象:初心者と上級者を除き、基礎打ちができる初級および中級者
各自のラケットと体育館シューズを持参してください。

天理大学体育学部キャンパス 総合体育館(サブアリーナ)

全7回 申し込み要[先着順40名]

受講料：4,000円(シャトル代・保険料等含む)

講師 体育学科 教授 中谷 敏昭
バドミントンはラケットとシャトルを用いて何回打ち続けられるか、試合で腕試しをするなど、たくさんの魅力があります。講座では、ストロークの基本となる運動を理解して楽しめる内容を用意しました。

第1回 5/7 日 ストロークの基本を学ぼう!

第2回 5/14 日 力強いストロークのための運動を覚えよう!

第3回 5/28 日 巧みなストロークを打てるようにしましょう!

第4回 6/11 日 ゲームを理解してやってみよう!

第5回 6/25 日 ダブルスゲームに必要な技術を覚えよう!

第6回 7/9 日 ダブルスのフォーメーションを覚えよう!

第7回 7/23 日 ダブルスゲームを楽しもう!



天理大学

2023 OPEN LECTURE

人文学へのいざない
[13:30～15:30]

大阪市立阿倍野市民学習センター
(あべのベルタ3階)

無 料 申し込み要[定員50名](多数抽選)

各回ごとの申込が必要です。状況により中止または実施方法が変更になる可能性があります。

第1回 5/27 日 講師 歴史文化学科 教授 橋本 英将 締切 5/13 必着

聖書の舞台を掘る ―イスラエル国テル・レヘシュの発掘調査―
旧約聖書の主要な舞台として知られ、現在でも世界中から各国の学術調査隊がフィールドワークにおとずれるイスラエル国。天理大学も1960年代から現地での調査を実施し、様々な成果をあげてきました。今回は2006年より現在まで続いているテル・レヘシュの調査成果と、その学術的意義を紹介することで、古代イスラエル史のもつ魅力を感じていただきたいと思います。

第2回 6/3 日 講師 人間関係学科社会福祉専攻 准教授 深谷 弘和 締切 5/20 必着

メンタルヘルス不調からみえてくる現代社会
メンタルヘルス(心の健康)に不調を感じている人は、厚生労働省が3年ごとにおこなっている「患者調査」によると、全国で約614万人となっています。約419万人だった2019年の前回調査から大きく増加しています。なぜ、メンタルヘルス不調者がこれほど多くなっているのか。そこからみえる現代社会の特徴について読み解いていきます。

第3回 6/10 日 講師 国文学国語学科 准教授 鳥谷 善史 締切 5/27 必着

大阪弁の今 ―関西共通語化の視点から―
現在の日本語は全国で急速に「共通語化」しています。関西の場合も同じような傾向がありますが、少し異なります。それは、「関西共通語化」という現象です。これは中核都市である大阪がことばの発信地となって関西全域に影響を及ぼしているということです。その実態をさまざまな調査結果から確認したいと思います。

第4回 6/17 日 講師 宗教学科 教授 岡田 正彦 締切 6/3 必着

忘れられた仏教天文学 ―19世紀の日本における仏教世界像―
徳川吉宗の実学奨励によって、近代科学の自然観が一般に普及し始めた江戸後期に、一人の仏教僧が仏典中の円盤状の宇宙像をもとに仏教天文学の理論を確立し、地球の概念や地動説にもとづく西洋天文学の理論に対抗しようとししました。日本宗教思想史のなかで異彩を放つ、この仏教科学の理論と信奉者たちのユニークな活動を紹介します。

第5回 6/24 日 講師 人間関係学科生涯教育専攻 教授 岡田 龍樹 締切 6/10 必着

教育と地方創生
わが国では、少子高齢化傾向はとどまらず人口減少を止める目途が見えない状況が続いています。これに対して「地方創生」が叫ばれ、それぞれの自治体において独自の取り組みが求められ、その中で地域における「教育」の役割が期待されています。地方創生という視点からわが国の文教政策を概観し、住民・市民として「教育」にどのように向き合っていく必要があるのかについて考えます。

第6回 7/1 日 講師 人間関係学科臨床心理専攻 教授 橋本 尚子 締切 6/17 必着

もう一人の私 ―私は私が一番知っている―
心理学は人の心について学ぶ学問です。人間の心のタイプについての理論もあり、心を知るための様々な検査を通して、知らなかった自分の心の一面に出会うことがあります。あるいはカウンセリングを通して今まで知らなかった自分の一面に出会っていくことがあります。そのような話を通して心理学や臨床心理学を身近に感じていただけたらと思います。

「大和学」への招待
[13:30～15:00]

―郡山の歴史と文化2―
三の丸会館

無 料 申し込み不要[定員75名]

(高齢者の方を主たる対象とし、広く一般の方も受講可とします)

第1回 5/27 日 講師 国文学国語学科 教授 西野 由紀

江戸時代の郡山 ―地誌と文学作品とでたどるイメージ―
天正8(1580)年に筒井順慶が郡山城を改修して以来、数家の城主をむかえながら、郡山は城下町として発展していきました。この講座では、井原西鶴の浮世草子作品や寛政3(1791)年刊の『大和名所図会』等を中心に、江戸時代の人びとが郡山についていかに見聞き、イメージしたか、紹介します。

第2回 6/10 日 講師 天理大学附属天理参考館 学芸員 乾 誠二

山本コレクションから見た近畿日本鉄道のあゆみ ―橿原線全通一世紀―
今から100年前、近畿日本鉄道の橿原線が全通しました。既に開業していたJR関西本線・桜井線に加え、新たに奈良県中央部を南北に貫く幹線が完成したことは人々の生活に大きな影響がありました。本講では橿原線や天理線等、大和郡山市や奈良県近隣路線の歴史を概観し、ダイナミックな新規路線開業やM&Aを経て日本最大の私鉄となった近畿日本鉄道の一端に触れていただきます。

―宇陀歴史再発見―
宇陀市文化会館(研修室)

無 料 申し込み不要[定員70名]

(高齢者の方を主たる対象とし、広く一般の方も受講可とします)

第1回 9/30 日 講師 歴史文化学科 元教授 谷山 正道

享保の改革と宇陀の民衆 ―奥宇陀の庄屋記録を手がかりに―
宇陀郡長野村の庄屋をつとめていた井上次郎兵衛は、宝永元年(1704)から宝暦4年(1754)までの、50年にわたって世の中の出来事を書き留めた興味深い記録(「萬附込差引覚帳」)を残しています。この記録を手がかりに、幕府(8代將軍吉宗)が実施した享保改革のあり方とこれに対する民衆の動きについて、宇陀のケースを中心に話します。

第2回 10/7 日 講師 国文学国語学科 講師 大谷 歩

宇陀の万葉歌
日本現存最古の歌集「万葉集」。奈良県内には、万葉歌に詠まれた土地がたくさんあります。宇陀で特に有名なのは柿木人麻呂の歌に詠まれた安騎野ですが、他にも宇陀に関連する地名(住坂・宇陀の野など)が詠まれた歌があります。これらの歌の表現を丁寧に観察し、当時の人びとの宇陀の地に対するイメージや発想を考察します。

第3回 10/14 日 講師 歴史文化学科 非常勤講師 岩宮 隆司

宇陀地域の古代史
宇陀は、神武天皇の東征伝にも登場し、古代の天皇にとって重要な地域でした。この地域にあった村・神社、この地域にいた一族、この地域に関する少ない文献史料から、古墳時代から平安時代頃の宇陀地域の様子を探っていきます。宇陀地域の様子が解明されれば、日本の古代国家が誕生した頃の歴史を解き明かす事が出来ます。一緒に考えてみませんか。

第4回 10/21 日 講師 歴史文化学科 准教授 黒岩 康博

神話と地域社会 ―宇陀鳥見山をめぐる郷土史―
宇陀市の鳥見山は、神武天皇が霊時(まつりのにわ)を立て、皇祖天神を祀ったという伝承のある場所です。記紀に基づく「国史」は、昭和戦前期に顕彰のピークを迎えますが、その一部は現在でも「郷土史」として受容されています。宇陀においては、どのような経緯で神話が地域に根付いたのでしょうか。主に19・20世紀を対象として、その歴史を紐解きます。

外国語への招待
[13:30～15:00]

奈良新聞社
(3階 セミナールーム)

無 料 申し込み要[先着順30名]

各回ごとの申込が必要です。

第1回 6/17 日 講師 外国語学科中国語専攻 教授 山本 和行

「多言語社会」台湾の言語状況
台湾には様々な言語が存在します。いわゆる「中国語」はもとより、現在では「台湾語」と呼ばれる閩南語、「客家」の人々の客家語、先住民の人々の原住民諸語に加え、日本の植民地統治下の教育を受けた人々が身につけた日本語や、「新住民」と呼ばれる東南アジア地域を主とする移民の人々の言語もあります。そうした台湾の多様な言語状況について考えます。

第2回 6/24 日 講師 外国語学科韓国・朝鮮語専攻 教授 長森 美信

訓民正音 ―ハングルの誕生―
現在、韓国・朝鮮語は「ハングル」と呼ばれる固有の文字で表記されています。この文字は「訓民正音」の名で、15世紀に朝鮮王朝第4代国王世宗(セジョン)によって創製されたものです。漢字を唯一の文字とした朝鮮半島で、ハングルがどのように作られたのか、ハングルの仕組みと読み方、ハングル誕生が後の韓国・朝鮮社会に与えた影響等を考えます。

第3回 7/1 日 講師 外国語学科英米語専攻 准教授 山本 晃司

英語の「音」は語る ―個別音からプロソディまで―
“language”(言語)の語源は“tongue”(舌)です。その舌が作り出す音には「柔らかい」音や「硬い」音などがあると言われています。特定の音に対して人はなぜこのような印象を持つのでしょうか。本講座では、英語の個別音そしてプロソディを中心に物や人の名前などを例示しながら音の不思議な世界にご招待したいと思います。

第4回 7/8 日 講師 外国語学科スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻 教授 野中 モニカ

ブラジル音楽 ―その歌詞から社会を読み解く―
サンバやボサノバなどで世界的にも有名なブラジル音楽は、明るく楽しいイメージを発信することが多いのですが、リズムカルなポルトガル語で紡がれる歌詞は、社会政治批判であることも珍しくありません。今回は著名なアーティストの曲の中から、社会に深く関わる歌詞とそのメッセージを取り上げて現代のブラジル社会を考えていきたいと思います。

ウェルネスライフのすすめ
[13:30～15:15]

橿原市役所分庁舎(ミグランス)
(4階 コンベンションルーム)

無 料 申し込み不要[先着順40名]

第1回 10/28 日 講師 看護学科 教授 山中 政子

穏やかにくらすためのがん予防
日本人の2人に1人が、一生のうち一度はがんになるというデータがあります。がんの原因は1つではなく、複数の要因が関連して発生します。最近、がん予防についての研究から、がんと生活習慣との間に深い関わりがみられることがわかってきました。科学的根拠に基づいたがん予防を学び、生活習慣の改善に取り組んでみませんか。

第2回 11/11 日 講師 臨床検査学科 教授 畑中 徳子

かしこい健康診断の受け方・活かし方
健康診断では、症状のない病気や、将来、病気になる可能性を早く発見するために、血液や尿の検査が実施されます。報告書に並ぶたくさんの数値は臨床検査値とよばれ、病気以外にも様々な要因で変化することを知っていますか。健康診断を受けるときに掛けたいことや、臨床検査値に付いたLやHの意味を知って、健康診断をかしこく活かすためのお話です。